

兵庫県 の り 漁場環境情報 (淡路周辺海域 3 号)

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが確認されており、南浦・東浦海域では大量発生しています。窒素は、陸水の影響により高い地点を除き、海域全般に1～2 $\mu\text{g at/L}$ の値となっています。

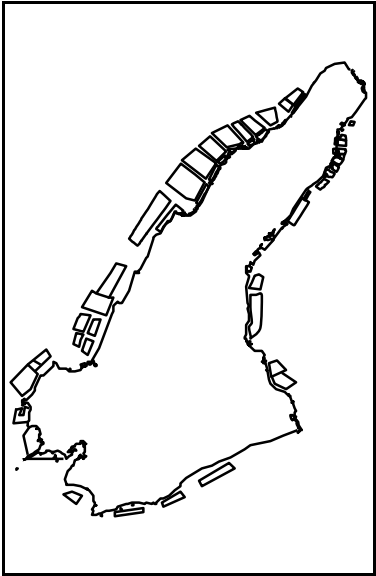
(珪藻・栄養塩ほか)

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが確認されており、南浦・東浦海域では前回(10/31)調査より増加していたが西浦海域では減少していた。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西浦海域で70細胞前後(前回値：700細胞前後)、東浦海域で1,200～1,700細胞(前回値：200～800細胞)、南浦海域で300～900細胞(前回値：30～700細胞)であった。

海域全般に小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。
阿万では、陸水の影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

2025年11月10日発行
兵庫のり研究所

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.5	1.8	3.7	5.3
	リン	0.46	0.33	0.46	0.62
西浦地先	窒素	1.8	2.9	4.3	4.3
	リン	0.47	0.67	0.71	0.64
南浦地先	窒素	1.9	1.3	3.9	3.4
	リン	0.44	0.39	0.55	0.52

(10/31) ※窒素・リンの平均値は、阿万を除く (11/11)

栄養塩 (窒素) 図

2025年11月10日調査

